

FAST TRAVELの推進に係る取組

国土交通省 航空局
総務課 政策企画調査室
平成31年3月

FAST TRAVELの推進 コンセプト

ストレスフリーで快適な旅行環境の実現をめざし、訪日外国人旅行者・日本人出国者の大宗が利用する空路において世界最高水準の利用者サービスを提供するため、先端技術の活用等により、地方空港も含め、旅客が行う諸手続や空港内外の動線等を抜本的に革新し、空路の利用に係る一気通貫での円滑化等を通じた旅客満足度の向上を図る。



FAST TRAVELの推進に当たっては、関連する手続きに係る関係者が多岐にわたることから、旅客の満足度向上を図る観点から、空港会社・空港ビルを中心に、**関係者の連携体制を構築し、旅客動線横断的に効率化や高度化を追求することが重要。**

航空局、CIQ官署、
空港ビル会社、エアライン、
地元自治体、二次交通事業者
等

空港サービスの充実について全ての関係者が連携して解決するための枠組み
(= 空港別WG) の構築

● 課題共有

- ・ 空港が抱えている課題を官民双方の関係者間で横断的に共通認識
- ・ 各関係者が有するノウハウを最大限活かして、空港の旅客利便性向上に資する取組を検討

● 取組に係る推進

- ・ 個々では対応困難な取組を関係者が協力することにより可能に

- ・ 三大都市圏の空港及び地方空港のモデルとなる空港（仙台・那覇）において先行的にWGを設置。
- ・ 課題認識・解決方策を共有化し、FAST TRAVEL推進のための目標・計画（FAST TRAVEL ビジョン）策定。

■ 空港会社、就航航空会社、C I Q官署、航空局に加え、県庁、2次交通事業者等が参加している。

成田空港

成田国際空港(株)／成田国際空港AOC／国際航空運送協会／東日本旅客鉄道(株)／京成電鉄(株)／東京空港交通(株)／京成バス(株)／財務省 東京税関 成田税関支署／法務省東京入国管理局成田空港支局／厚生労働省 成田空港検疫所／農林水産省 動物検疫所 成田支所・横浜植物防疫所 成田支所／国土交通省航空局航空ネットワーク部首都圏空港課・安全部安全企画課・総務課政策企画調査室・東京航空局成田空港事務所

羽田空港

日本空港ビルデング(株)／東京国際空港ターミナル(株)／東京国際空港AOC／財務省東京税関羽田税関支署／法務省東京入国管理局羽田空港支局／厚生労働省東京検疫所東京空港検疫所支所／農林水産省動物検疫所羽田空港支所・横浜植物防疫所羽田空港支所／国土交通省航空局航空ネットワーク部首都圏空港課・空港計画課・安全部空港安全課・保安対策室・総務課政策企画調査室・東京航空局・東京空港事務所

関西空港

関西エアポート(株)／関西国際空港AOC／財務省大阪税関関西空港支署／法務省大阪入国管理局関西空港支局／厚生労働省関西空港検疫所／農林水産省動物検疫所関西空港支所・神戸植物防疫所関西空港支所／国土交通省航空局航空ネットワーク部近畿圏・中部圏空港政策室・安全部空港安全課・保安対策室・総務課政策企画調査室・大阪航空局

中部空港

中部国際空港(株)／中部国際空港AOC／財務省名古屋税関／法務省名古屋入国管理局中部空港支局／厚生労働省名古屋検疫所／農林水産省名古屋動物検疫所・名古屋植物防疫所／国土交通省航空局航空ネットワーク部近畿圏・中部圏空港政策室・総務課政策企画調査室・大阪航空局中部空港事務所

那覇空港

那覇空港ビルディング(株)／那覇空港国際線AOC／JALスカイエアポート沖縄(株)／ANA沖縄空港(株)／沖縄県／財務省沖縄地区税関那覇空港税関支署／法務省福岡入国管理局那覇支局那覇空港出張所／厚生労働省那覇検疫所／農林水産省動物検疫所沖縄支所・那覇植物防疫事務所／国土交通省航空局航空ネットワーク部空港計画課・総務課政策企画調査室・大阪航空局

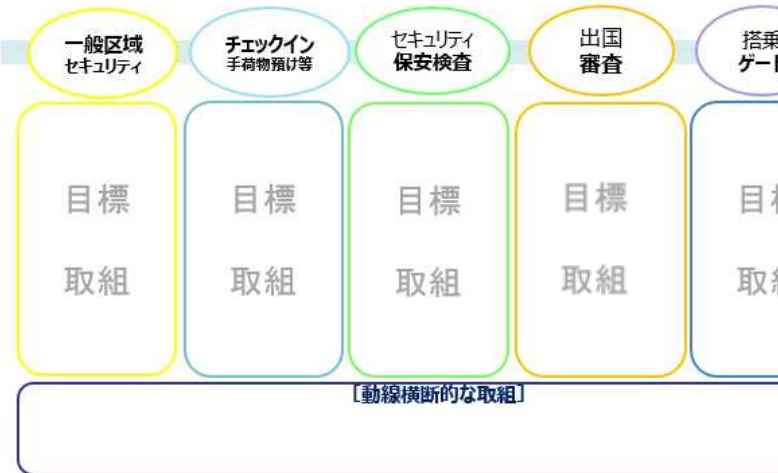
仙台空港

仙台国際空港(株)／仙台空港AOC／JSS／宮城県／財務省横浜税関仙台空港税関支署／法務省仙台入国管理局仙台空港出張所／厚生労働省仙台検疫所仙台空港検疫所支所／農林水産省動物検疫所北海道・東北支署仙台空港出張所・横浜植物防疫所仙台空港分室／国土交通省航空局航空ネットワーク部航空ネットワーク企画課・総務課政策企画調査室・東京航空局・仙台空港事務所

- 先行6空港において、FAST TRAVELビジョンとして、以下を策定
 - ・**空港での経路・段階**（出国動線：空港到着→①出発ロビー→②チェックイン→③手荷物預け→④保安検査→⑤出国審査→⑥制限エリア→⑦搭乗→出発（離陸）、入国動線：到着（着陸）→①到着動線→②入国審査→③手荷物回収→④税関・検疫→⑤到着ロビー→空港出発）**ごとの目標（2020年度末メド）・目標達成に向けた措置・取組**
 - ・**横断目標**（空港到着から出発、降機から空港出発までの旅客動線トータルでの目標）（2019年度～2020年度を目指しつつ、概ね5年後までを想定して設定）

○○空港・FAST TRAVEL推進ビジョン①：出発動線（イメージ） 国土交通省

例) 目標①：空港到着から出発まで、搭乗に係る各手続に要する時間を平均10分とする。



○○空港・FAST TRAVEL推進ビジョン②：到着動線（イメージ） 国土交通省

例) 目標①：降機から到着ロビーまで、各動線・手続に要する時間を平均30分とする。
目標②



各WGの設定している横断目標

- 概ね5年後までを想定して設定（必達ではなく横断的取組を図る上での指標として策定）

成田空港

- ◆ 出発動線： 空港到着から出発まで、搭乗に係る各手続きに要する時間を平均10分とする。
- ◆ 到着動線： 降機から到着ロビーまで、各動線・手続きに要する時間を平均30分とする。

羽田空港

目標年次：2020年度

- ◆ 出発動線： 旅客の出発に係る各手続き*に要する時間を10分とし、所要時間内に通過した旅客比率を目標（達成率）として設定。
 - ◆ 到着動線： 旅客の到着に係る各手続き*に要する時間を30分とし、所要時間内に通過した旅客比率を目標（達成率）として設定。
- *別途、対象の旅客/手続き/時間帯を設定する

関西空港

- ◆ 出発動線： 出発ロビーから制限エリアまで10分以内（※）を目指す。※旅客のうち9割以上が10分以内
- ◆ 到着動線： 到着動線から到着ロビーまで30分以内を目指す。

中部空港

目標年次：2020年度

- ◆ 出発動線： IATA「LOS(Level Of Service)」の実現 所要時間目標(平均)チェックイン：セルフ2-7min/有人対応10-20min セキュリティ：5-10min
- ◆ 到着動線： IATA「LOS(Level Of Service)」の実現 所要時間目標(平均) 手荷物受取：15-25min

那覇空港

目標年次：2021年度

- ◆ 出発動線： IATA「LOS(Level Of Service)」の実現 所要時間目標(平均) チェックイン：有人対応10-20min セキュリティ：5-10min
- ◆ 到着動線： IATA「LOS(Level Of Service)」の実現 所要時間目標(平均) 手荷物受取：15-25min

仙台空港

目標年次：2020年度

- ◆ 出発動線： チェックインのための着列から出国審査着列まで15分以内とする。
- ◆ 到着動線： 降機から到着ロビーまで30分以内（中長期在留者除く）とする。

経路・段階別の目標・取組

入国・出国：一般区域

- 訪日外国人向け演出や空間全体の明るさ改善、視認性向上等が掲げられており、空間演出整備や翻訳機の導入等の取組が始まっている。



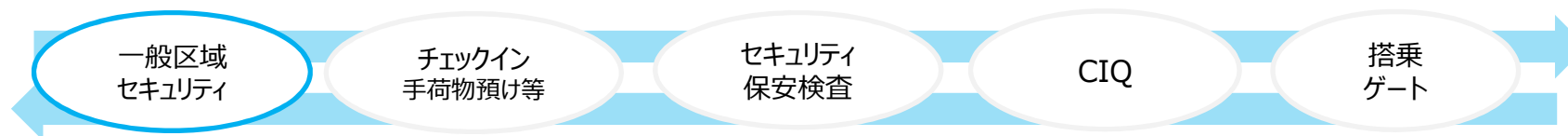
訪日外国人向けウェルカム感の演出

「日本らしさ」空間演出



成田国際空港株式会社プレスリリースより

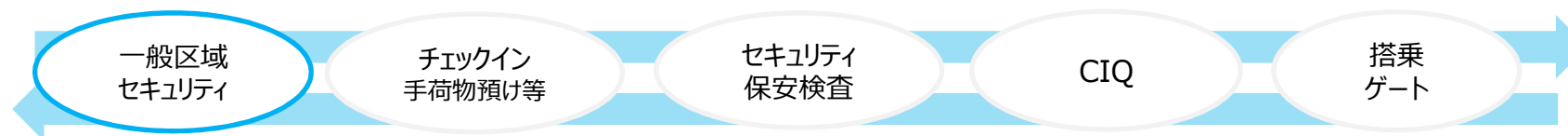
経路・段階別の目標・取組



入国・出国：一般区域（成田・羽田・関西）

	目標	取組	実施状況
成田	—	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 目的地への館内ナビゲーションや各種情報提供できる多言語インタラクティブ型情報提供端末を設置 ✓ 訪日外国人向けウェルカム感の演出 ✓ 大型案内サインやわかりやすい照明の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2019年度上期に多言語インタラクティブ型情報提供端末64台を設置。 ✓ 1・2PTB到着コンコースにおいて、プロジェクターや液晶ディスプレイを活用し、「訪日歓迎ムード」や「日本らしさ」を表現する空間演出整備工事を現在実施中。 1PTB:4箇所、2PTB:5箇所。2019年3月1日供用予定。 ✓ PTBバリューアップ工事において、直感的に進行方向がわかる内装改修や照明器具のLED化、各種サインの改修工事を現在実施中。 1PTB（北ウイング、1,2サテライト）:2020年3月完成予定。 2PTB（本館、サテライト）:2020年6月完成予定。
羽田	—	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 日本文化の発信など旅客の快適性の確保に向けた施策を今後検討 ✓ 防犯カメラによる先進的な情報解析・警備システムの導入を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 文化/芸術発信の展示イベント各種開催を継続中 ✓ 顔認証技術活用の防犯警備システム導入検討中(2019年度)
関西	—	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 訪日外国人向けウェルカム感の演出（NINTENDO） ✓ 深夜・早朝時間帯の仮眠休憩スペースの開放 ✓ 全案内カウンターに通訳アプリ導入 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2017年6月23日からNINTENDOイベント実施中。 ✓ 仮眠休憩スペース解放済 ✓ アプリ導入済

経路・段階別の目標・取組



入国・出国：一般区域（中部・那覇・仙台）

	目標	取組	実施状況
中部	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 魅力ある空間創出ため、空間全体の明るさ改善、視認性向上を図る。 ◆ 訪日外国人をはじめとしたお客様に対するおもてなし環境整備、案内強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ LED等照明機器のバリューアップ検討 ✓ ボランティアスタッフの増員検討 ✓ 多言語案内機器の導入について今後議論 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2019年度内に照明機器のバリューアップを実施予定 ✓ 案内所で翻訳機「ポケットク」利用開始(2019年1月)
那覇	<ul style="list-style-type: none"> ◆ (出発)国際線エリアへの旅客の円滑な誘導 ◆ (到着)コンコース移動時のストレス緩和 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国際線乗り継ぎ動線の新設 ✓ 案内サインの改修 ✓ 旅客案内用デジタルサイネージの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国際線乗継動線は2020年度までに完了予定。 ✓ 案内サイン及びデジタルサイネージは2019年3月18日より供用開始予定。
仙台	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 満足度調査[空港アクセス]対前年比向上 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 空港アクセスの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 空港アクセス事業者との別働WG協議

経路・段階別の目標・取組

出国：チェックイン・手荷物預け等

- **自動チェックイン機(CUSS)や自動手荷物預入機 (CUBD・SBD) の導入や、チェックインカウンター再編**等が掲げられており、順次導入等の取組が始まっている。

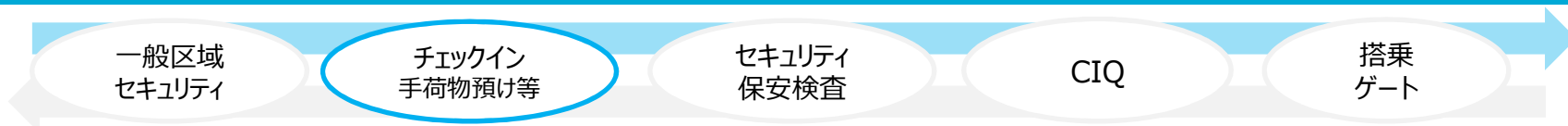


CUSS（自動チェックイン機）

CUBD・SBD（自動手荷物預入機）



経路・段階別の目標・取組



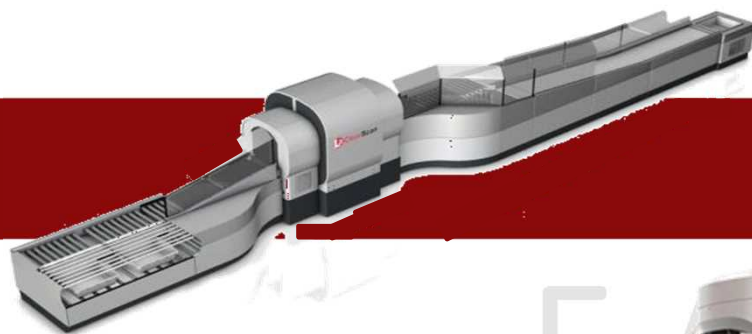
出国：チェックイン・手荷物預け等

	目標	取組	実施状況
成田	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 待ち時間(セルフサービス) 7分以内 ◆ 待ち時間(有人サービス) 20分以内 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 案内表示および待ち行列管理に関する標準運用手順を導入 ✓ CUBDを本格導入 ✓ CUSSとCUBDによるスムーズなチェックインを実現するためCUSSレイアウトを変更 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ SOPについては2018年4月から順次導入 ✓ CUBDは2020年度前半までに導入を完了 ✓ CUSSレイアウトは必要に応じて2019年度前半に実施
羽田	<ul style="list-style-type: none"> ◆ SDB導入と利用促進により出発手続きの待ち時間・手続き時間の短縮を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ CUBDの導入 ✓ CUSSの増設 ✓ CUBD, CUSSへの顔認証機能の導入検討 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ T2は国際線供用開始時より、T3は2019年度末迄に導入準備中
関西	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自動チェックイン機利用率向上による手続き時間短縮を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ CUSSの導入 ✓ SBD(セルフバッグドロップ)の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ CUSS導入済 ✓ SBDは2019年度より順次導入予定
中部	<ul style="list-style-type: none"> ◆ CUSS増設及びSBD導入等を通じ、セルフサービス提供率向上、手続き時間短縮を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ CUSS(BTP付)の増設検討 ✓ SBD導入(導入に伴う保安対策、BHS改修等含む)の検討 ✓ カウンターアサイン再編 ✓ 発券カウンター(占有)のあり方見直し ✓ ホストシステム等セルフサービスの利用環境整備【AL】 ✓ WEBチェックイン利用促進【AL】 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2019年度内のCUSS増設及びSBD導入に向け、関係者間で台数・配置等検討中
那覇	<ul style="list-style-type: none"> ◆ チェックイン手続き時間を20分以内へ短縮 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ チェックインカウンターの増設 ✓ 受託手荷物検査のインライン化 ✓ CUSSの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2019年3月18日より供用開始予定。(左記取組の開始)
仙台	—	<ul style="list-style-type: none"> ✓ チェックインカウンター共用化 ✓ CUSS導入 ✓ 手荷物検査の高度化、効率化 	

経路・段階別の目標・取組

出国：保安検査

- スマートレーンやボディースキャナーの導入等が掲げられており、スマートレーン・ボディースキャナーに加え、PFMの導入等の取組が始まっている。



スマートレーン

ボディースキャナー



PFM(旅客流動管理システム)



経路・段階別の目標・取組

 一般区域
セキュリティ

 チェックイン
手荷物預け等

**セキュリティ
保安検査**

CIQ

 搭乗
ゲート

出国：保安検査

	目標	取組	実施状況
成田	◆ 10分以内	<ul style="list-style-type: none"> ✓ スマートレーン導入 ✓ ボディスキャナー追加導入 ✓ 保安検査エリア拡大 ✓ 待ち時間をデジタルサイネージ等で表示 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ スマートレーン・ボディスキャナー・保安検査エリア拡大については2019年度から順次導入。 ✓ 待ち時間の表示時期は未定。
羽田	◆ 待ち時間の計測・表示、スマートレーン追加導入等によるストレス軽減、待ち時間短縮を図る	<ul style="list-style-type: none"> ✓ スマートレーン追加導入 ✓ 待ち時間測定表示新システム導入検討 ✓ ONE-ID 顔認証PRS導入検討 ✓ ボディスキャナー追加導入 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ スマートレーン(+CT機)は2018年度に北検査場へ1セット導入済み ✓ スマートレーンの追加導入準備中(T2国際、T3中央検査場) ✓ より精度高い待ち時間計測にむけ新システムへの換装を準備中
関西	◆ スマートレーン導入等による、手続き時間の短縮及び旅客のストレス軽減	<ul style="list-style-type: none"> ✓ スマートレーンの導入 ✓ 保安検査機器の高度化 ✓ PRS(旅客通過管理システム)の導入 ✓ PFM(旅客流動管理システム)による予測待ち時間表示 ✓ 保安検査場前動線整理スタッフの配置 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ スマートレーン導入済 ✓ ボディスキャナー導入済 ✓ PRS導入済 ✓ PFMによる待ち時間表示済 ✓ 整理スタッフ配置済
中部	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 旅客の検査待ちに係るストレスの低減 ◆ スマートレーン等による円滑な保安検査 ◆ 検査機器の高度化による保安検査の厳格化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ スマートレーン導入 ✓ 検査機器の高度化 ✓ 検査場入口の改修 ✓ 搭乗券確認のPRS導入(今後議論) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2019年度上期にスマートレーン導入、検査機器の高度化、検査場入口の改修が完了予定
那覇	◆ 保安検査場通過時間を10分以内へ短縮	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国際線保安検査場の拡張 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2018年12月に国際線増改築工事に着手しており、2020年度中に保安検査場を拡張予定。
仙台	—	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 検査レーン2レーン化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 番台方式、ボディスキャナー導入(2/20)

経路・段階別の目標・取組

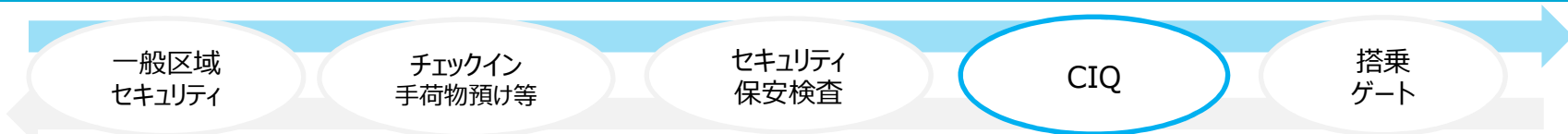
出国：出国審査

- **顔認証ゲートの導入**や**入国審査官の機動的な配置**等が掲げられており、**順次機器の導入**等の取組が始まっている。



顔認証ゲート

経路・段階別の目標・取組



出国：出国審査

	目標	取組	実施状況	
成田	◆ 顔認証ゲートを導入し、その活用などによる円滑な出国手続の実施 ◆ 出国者の増減に応じた機動的な審査体制の確保などによる円滑な出国手続の実施	✓ 円滑な審査の実現を図るため、以下の取組を実施。 - 顔認証ゲートの導入(日本人の出国手続), 顔認証ゲートの利用案内, 誘導, 積極的な広報(那覇空港及び仙台空港を除く) - 在留外国人向け再入国手続の啓発 - 入国審査官の機動的な配置 - 案内表示の充実	✓ 顔認証ゲート30台導入	
羽田			✓ 顔認証ゲート13台導入	
関西			✓ 顔認証ゲート15台導入	
中部			✓ 在留外国人向け再入国手続の啓発 ✓ 入国審査官の機動的な配置 ✓ 案内表示の充実	✓ 顔認証ゲート9台導入
那覇				
仙台				

経路・段階別の目標・取組

出国：搭乗

- ラウンジスペース、店舗の整備や情報提供端末の設置等が掲げられている。
- PBB整備や照明器具のLED化、ウォークスルー型免税店の設置等の取組が始まっている。



ボーディングブリッジ増設

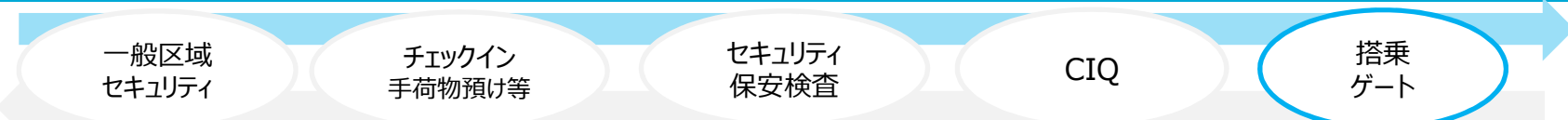
照明器具のLED化



ウォークスルー型免税店



経路・段階別の目標・取組



出国：搭乗

	目標	取組	実施状況
成田	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 旅客の60～70%がゲートで待った場合に50～70%の方が座れるスペースを確保 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 目的地への館内ナビゲーションや各種情報提供できる多言語インタラクティブ型情報提供端末を設置 ✓ 遠くから視認できる大型案内サインや旅客を誘導するようなわかりやすい照明の設置 ✓ PRS導入によるノーショー把握の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2019年度上期に多言語インタラクティブ型情報提供端末64台を設置。 ✓ PTBバリューアップ工事において、直感的に進行方向がわかる内装改修や照明器具のLED化、各種サインの改修工事を現在実施中。 1PTB（北ウイング、1,2サテライト）：2020年3月完成予定 2PTB（本館、サテライト）：2020年6月完成予定 <ul style="list-style-type: none"> ✓ PRS導入によるノーショー把握については2019年度末までに実施。
羽田	—	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 顔認証セルフ搭乗改札の導入検討 	—
関西	—	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 第2ターミナルにウォークスルー型店舗整備 ✓ お湯サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2017年1月28第2ターミナルにウォークスルー型免税店運用開始 ✓ お湯提供サービス実施済
中部	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 快適で趣向のあるエリアへと進化させ、搭乗前の滞在環境向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 搭乗待合エリアにゆったりとお過ごし頂けるスペース、多様な座席設置を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 快適で趣向あるエリア実現に向け、スペース利用方法を検討中
那覇	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 待合スペースの混雑緩和 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ボーディングブリッジ増設 ✓ バスラウンジ新設 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2018年12月に41番スイングPBBを増設。2018年12月に国際線増改築工事を開始しており、2019年度中にバスラウンジを新設予定。
仙台	—	—	—

経路・段階別の目標・取組

入国：入国審査

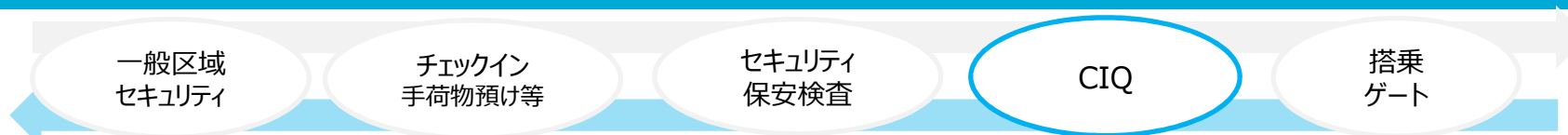
- **人員の配置、案内表示の充実**に加え、**バイオカート、顔認証ゲートの導入**等が掲げられており、**順次機器の導入**等の取組が始まっている。

顔認証ゲート



バイオカート

経路・段階別の目標・取組



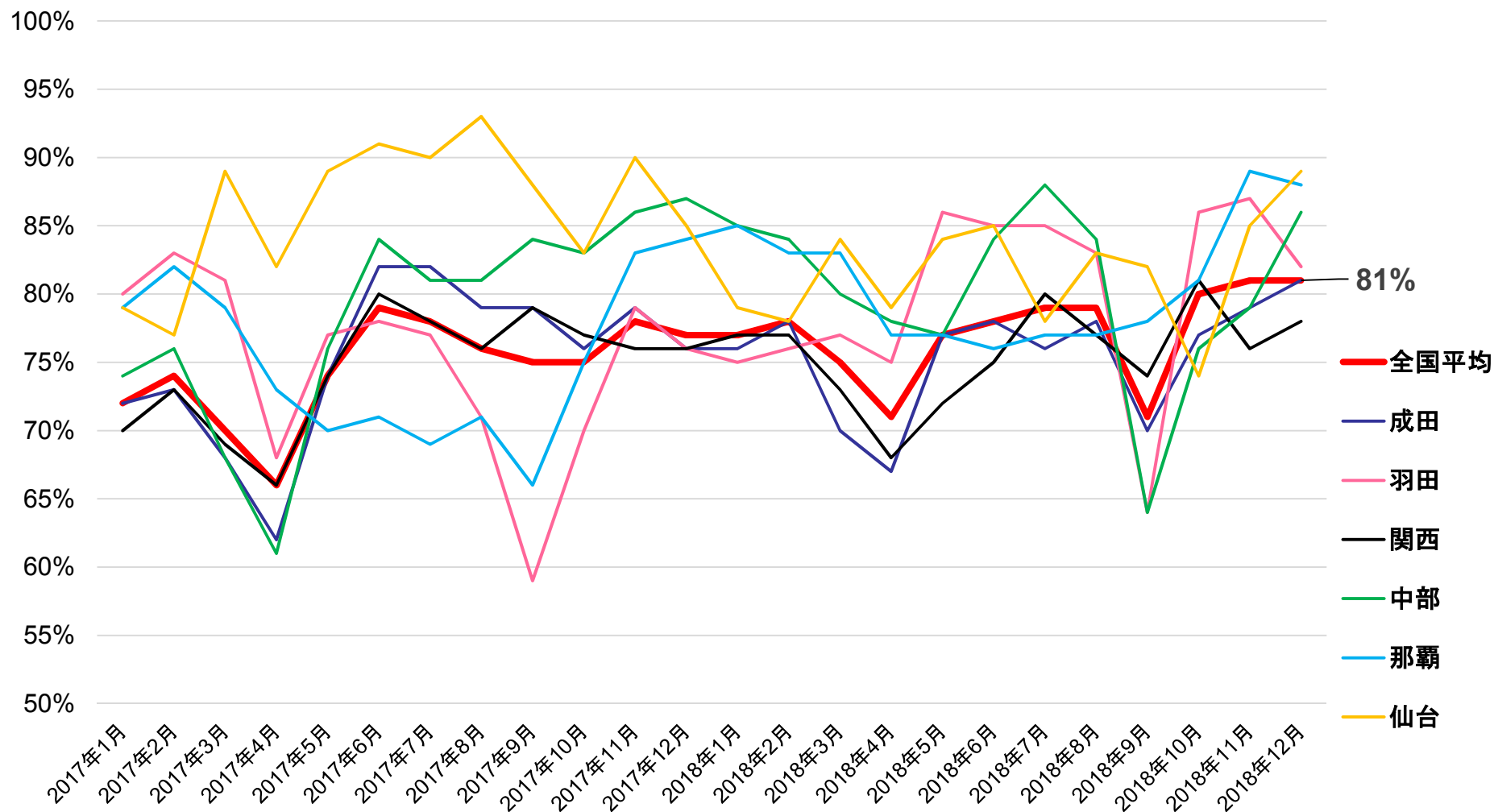
入国：入国審査

	目標	取組	実施状況
成田	◆ 外国人の入国審査待ち時間20分以内	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 成田空港バリューアッププランでの取組 <ul style="list-style-type: none"> －ブースの縦型化による審査ブース数の増配置 －案内サイン改修による視認性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 顔認証ゲート31台導入 ✓ バイオカート75台導入 ✓ 平成31年1月からブースの縦型化工事を実施中
羽田		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 円滑な審査の実現を図るため、以下の取組を実施。 <ul style="list-style-type: none"> －顔認証ゲートの導入(日本人の帰国手続), 顔認証ゲートの利用案内, 誘導, 積極的な広報 －バイオカートの導入(羽田空港を除く) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 顔認証ゲート10台導入
関西		<ul style="list-style-type: none"> －TTPの導入 －審査ブースコンシェルジュの配置 －入国審査官の機動的な配置 －案内表示の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 入国審査官の機動的な配置 ✓ モニタ等案内表示の充実 ✓ 審査ブースコンシェルジュの配置
中部		<ul style="list-style-type: none"> －バイオカートの導入 －審査ブースコンシェルジュの配置 －入国審査官の機動的な配置 －案内表示の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 顔認証ゲート12台導入 ✓ バイオカート60台導入
那覇		<ul style="list-style-type: none"> －バイオカートの導入 －審査ブースコンシェルジュの配置 －入国審査官の機動的な配置 －案内表示の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 顔認証ゲート6台導入 ✓ バイオカート16台導入
仙台		<ul style="list-style-type: none"> －審査ブースコンシェルジュの配置 －入国審査官の機動的な配置 －案内表示の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ バイオカート16台導入

(参考)入国審査待ち時間20分以内の達成率

○入国審査待ち時間20分以内の達成率は全国平均で81% (2018年12月時点)

入国審査待ち時間20分以内の達成率推移



経路・段階別の目標・取組

入国：手荷物受取

- **バゲージクレーム増設**等の取組が掲げられており、**手荷物受取場の拡張工事**に加え**到着免税店の設置**等の取組が始まっている。

バゲージクレームの増設

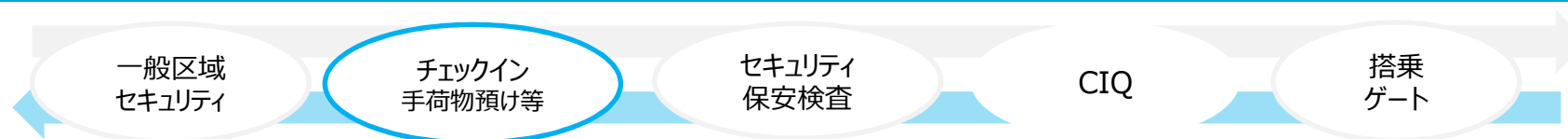


東京国際空港ターミナル株式会社 HPより



到着免税店の設置

経路・段階別の目標・取組



入国：手荷物受取

	目標	取組	実施状況
成田	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ラストバッグの到着時間・ファーストバゲージ到着から25分以内(ワイドボディ) ◆ ファーストバゲージ到着から15分以内(ナローボディ) 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ バゲージクレーム増設に伴う手荷物引渡し所の拡張 ✓ 内装および案内サインの改修による視認性の向上と明るい空間づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 1PTB南ウイング及び2PTBにおけるバゲージクレーム増設及び手荷物引渡所の拡張工事を実施中。2月現在、既存外壁の解体及び内装改修工事を順次実施中。 ✓ 既存高天井の改修工事や直感的に進行方向がわかる内装改修、照明器具のLED化、各種サインの改修工事を現在実施中。 ✓ 2020年3月完成予定。
羽田	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 到着時の所用時間の時間短縮を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ターンテーブル導入・増強 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ T3再拡張においてターンテーブルは6.5台から8台に ✓ T2国際において応需十分な台数を検討中
関西	—	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 到着免税店の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2018年4月1日到着免税店オープン
中部	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 関係者協力のもと、手荷物返却に係る所要時間短縮を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 荷捌場施設改修検討(到着クレームベルト利用制限解消) ✓ 各便における出発地での確実な手荷物仕分け及び正確な情報共有【AL】 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 手荷物返却時間短縮に向け、効率的な施設利用方法を検討中。
那覇	<ul style="list-style-type: none"> ◆ IATA Level of Serviceの目安(「所要時間15分間～25分間」)を採用 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 手荷物受取所及び到着手荷物搬送設備の増設 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2018年12月に国際線増改築工事に着手。2020年度中に手荷物受取所を拡張及び到着手荷物搬送設備を増設予定。
仙台	—	—	—

経路・段階別の目標・取組

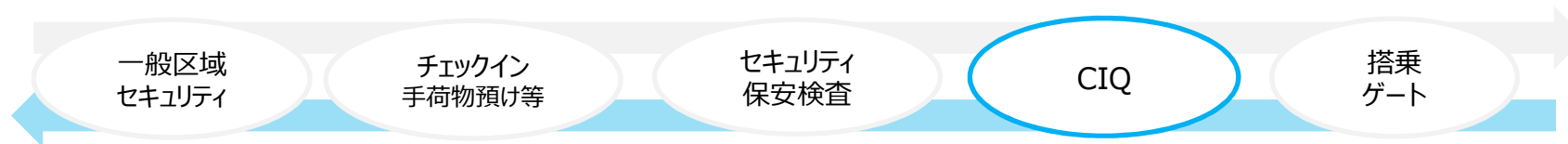
入国：税関検査

- 税関電子申告ゲートの導入等の取組が掲げられている。
- 混雑時に旅客の流れを停滞させない検査体制の実施等の取組が続いている。

税関電子申告ゲート



経路・段階別の目標・取組



入国：税関検査

	目標	取組	実施状況
成田	◆ 入国旅客の円滑な通関と、厳格な水際取締りによる安全・安心の確保の両立を実現。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 入国旅客の円滑な通関と、厳格な水際取締りによる安全・安心の確保の両立を実現するため、以下の非破壊検査機器等の導入を検討中 <ul style="list-style-type: none"> －税関検査場電子申告ゲート －高性能X線検査装置 －その他の検査機器 ※空港によって導入する機器や時期は異なる。 ✓ 旅客の利便性の向上に資するため、 <ul style="list-style-type: none"> －動線の効率化 －検査体制の見直し －多言語対応翻訳機の導入 －デジタルサイネージの導入（既存案内表示の改修） －誘導員（コンシェルジュ）の配置を進めるべく準備中。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2019年4月以降に成田空港第3ビルで税関電子申告ゲートの実証実験機を運用開始。 ✓ 混雑時に旅客の流れを停滞させないため、検査官が手荷物の開披検査を開始した際、検査台に別の職員を配置する検査体制の実施。 ✓ 円滑な通関を確保しつつも、増加する金地金の密輸を阻止するために、門型金属探知機を導入。
羽田			
関西			
中部			
那覇			
仙台			

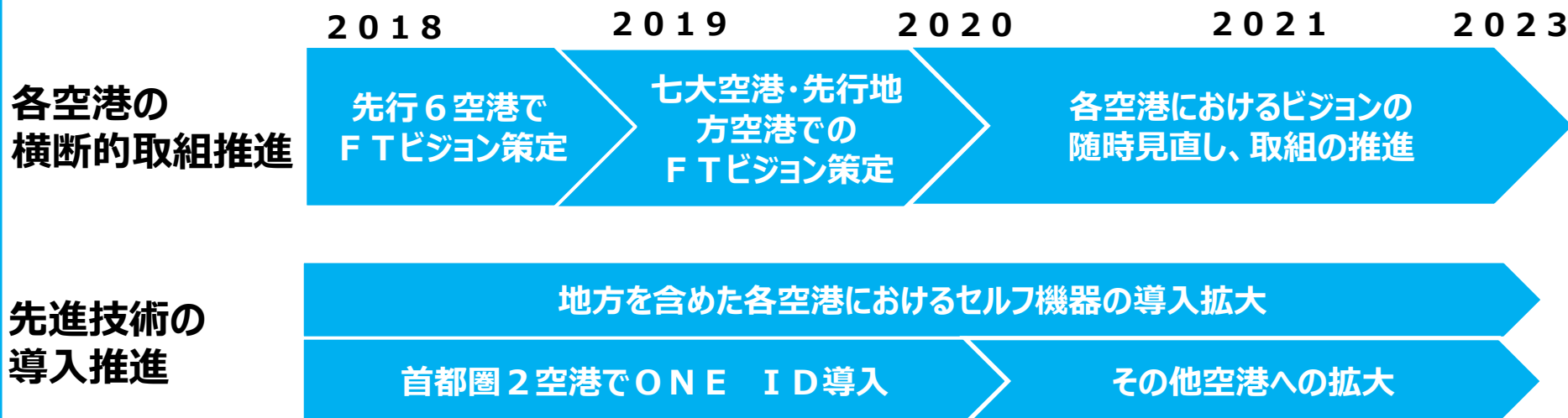
取組の方向性

■ 各空港WGでの連携による横断的な取組推進

…先行6空港でのビジョン実現に向けた**取組推進**・随時見直しを進めるとともに、**その他空港**（七大空港・先行地方空港）でも**WG設置**、ビジョン策定開始
段階別目標達成（2020年度）、横断目標達成（概ね2023年度まで）

■ 各手続きのONE ID化、セルフ機器の導入等先進技術の導入推進

…各空港での先進技術等を活用した機器類の導入に係る投資、これに係る**国の支援開始**



旅客待ち時間短縮等利用者利便向上の実現

■ 共通目標の達成

… IATA「Level of Service」(Check in [Self-Service] : 2-7min, Security : 5-10min) を参考に、各空港の実状も踏まえ、

2021年度までに^{※1}

チェックイン(セルフ^{※2})・保安検査について

最大待ち時間^{※3}

- ・ **それぞれ10分** (三大都市圏空港)
- ・ **それぞれ10分又は現状からの半減** (新千歳、福岡、那覇)
- ・ 短縮 (その他空港)

を実現

※1 : ターミナル工事等により機器導入困難である場合を除く

※2 : ターミナル構造等により機器導入困難である場合は手動での達成を検討

※3 : 待ち時間 → 着列から手続き開始まで

対象期間 → 最も旅客数の多い月の平均週 (最大と最小の週以外の週) の2日以上の日の一平均

(ただし、ピーク時間帯を含むことを条件として対象となる時間帯を縮小することは可)

旅客待ち時間
短縮の実現

2018

2019

2020

2021

2023

チェックイン・保安検査待ち時間
10分・10分の実現 (三大都市圏空港)
現状から半減の実現 (新千歳、福岡、那覇)

さらなる
取組深化

FAST TRAVELの推進

観光庁(参事官(外客受入担当)):3,500百万円

- 世界最高水準の空港利用者サービスを提供するため、先端技術の活用等により、旅客が行う諸手続きや空港内の動線を一气通貫で高度化することにより、手続きを迅速化する。
[補助対象事業者：空港ビル会社、空港会社等（補助率1/2）]

【搭乗手続きの自動化・顔認証化】



【手荷物輸送等の円滑化】



【地方空港のチェックイン手続きの円滑化】



チェックインカウンターを航空会社で共通化し、旅客の集中状況に応じて柔軟に振り分けるシステム（CUTEシステム）により、混雑を解消

【地方空港のビジネスジェットへの対応】



ビジネスジェット旅客専用の待合スペース、C I Qカウンター等を確保し、プライバシー・迅速性を重視する富裕層等の旅客ニーズに対応

デジタルサイネージ等で日本の魅力を発信

